

新型コロナワクチンの特徴

新型コロナワクチンはメッセンジャーRNA (mRNA) ワクチンというウイルスの遺伝子を用いたワクチンです。このワクチンでは、ウイルスのタンパク質を作る基になる遺伝子(情報の一部)を注射します。この情報を基に、人の体の中ではウイルスのタンパク質の一部が作られ、これに対抗する抗体ができることで、ウイルスに対する免疫ができます。

これは、私たちが持っている体の中に入った異物を攻撃するという免疫の仕組みを利用して、新型コロナウイルス感染症を予防します。

※遺伝子を利用したワクチンというと、人の遺伝子に影響が出ないか心配になる方もいますが、mRNA は不安定な物質のため自然に分解されて細胞外へ排泄されると言われています。



新型コロナワクチンの成分

有効成分：トジナメラン (mRNA)

添加物：ALC-0315、ALC-0159、コレステロール、塩化カリウム、リン酸二水素カリウム、塩化ナトリウム、リン酸水素ナトリウム二水和物、精製白糖

※ALC-0159に含まれる『ポリエチレングリコール』という物質は、医薬品や化粧品など家庭で広く使われている物です。これに似ている『ポリソルベート』という物質は、成人肺炎球菌ワクチンや季節性インフルエンザワクチンに使われ、『ポリソルベート』にアレルギー反応を起こす人は、『ポリエチレングリコール』にもアレルギー反応を起こしやすい可能性があると言われています。

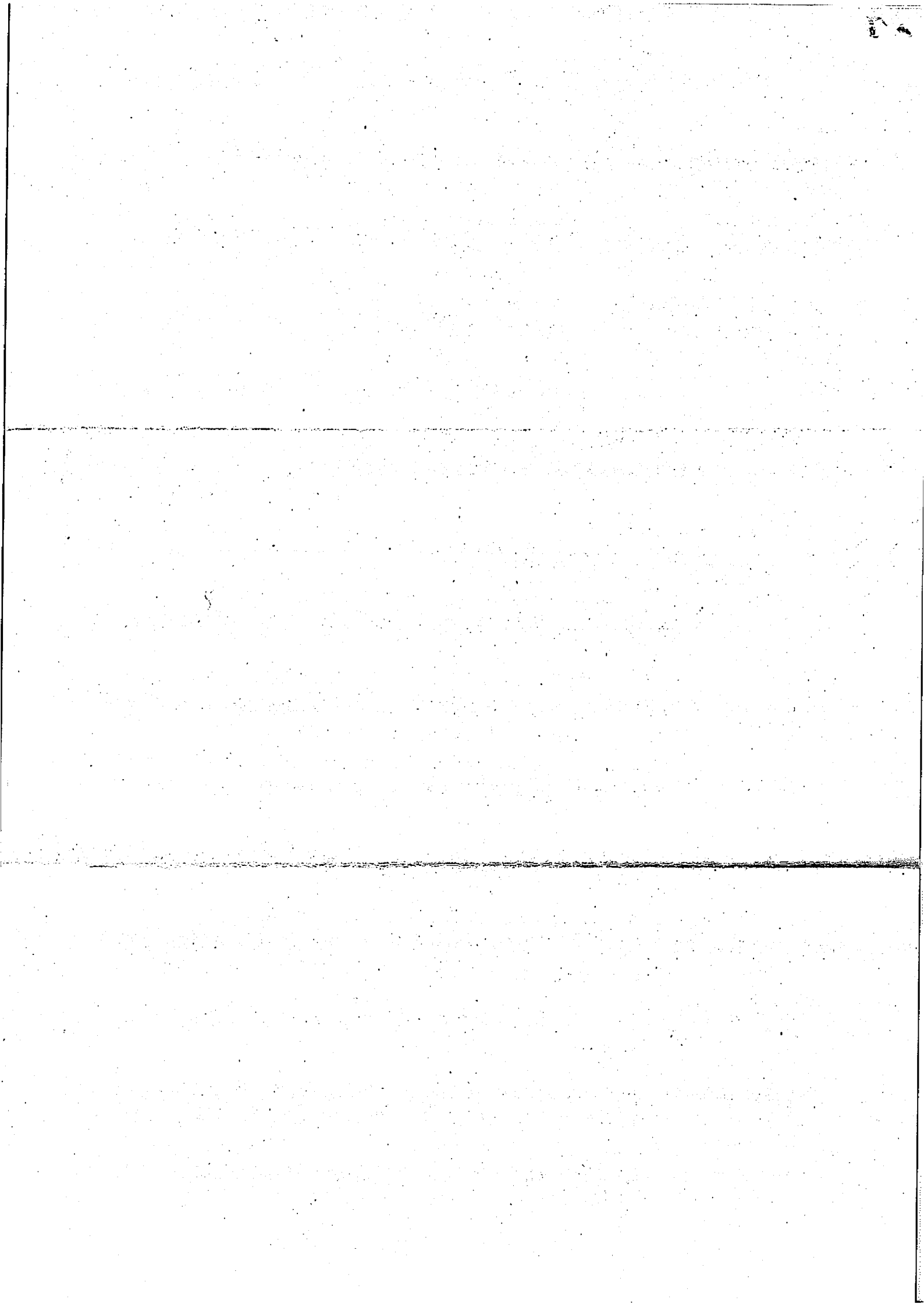
新型コロナワクチンの有効性

新型コロナワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症を予防するものです。ただし、ワクチン接種後も新型コロナウイルスに感染したケースが報告されていることもあり、基本的な感染予防対策(マスク着用・3密の回避・手洗い・咳エチケット・ソーシャルディスタンスの確保)が必要になります!

新型コロナワクチンの健康被害救済制度について

けんこうひがいきゅうさいせいど

予防接種は感染を防ぐために重要なものですが、極めてまれに脳炎や神経障害など健康に害を及ぼすこと(健康被害)があります。万が一、ワクチン接種を受けた方に健康被害が生じ、その症状が新型コロナワクチンによって引き起こされた健康被害と認定された場合において、予防接種法に基づいた救済(医療費・障害年金等の給付)を受けることができます。申請や相談については、住民票がある市町村にお問い合わせ下さい。



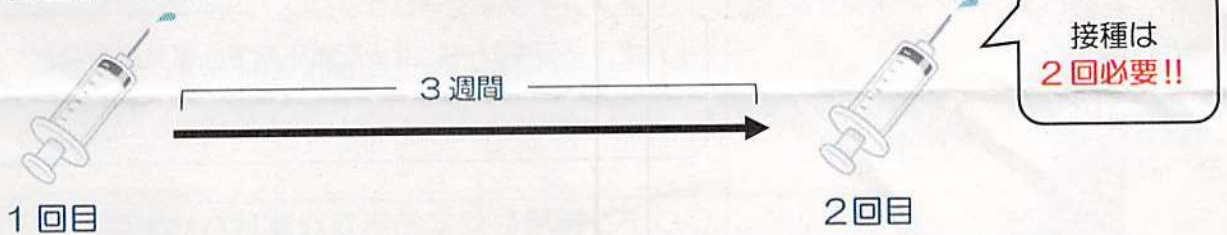
新型コロナワクチン予防接種について説明書

1. 新型コロナワクチンについて

① 新型コロナワクチンの効果

- ワクチンを接種した場合、新型コロナの発症予防効果は約95%と報告され、ワクチンを受けた人は受けていない人より病気の発症が少ないことが分かっています。
- ワクチン接種後に十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日目以降とされています。

② 接種回数と間隔



※1回目の接種から3週間を超えてしまった場合には、できるだけ早く2回目の接種を受けて下さい。

2. 予防接種を受けることができない人

① 接種当日に明らかに発熱している人



※明らかに発熱とは？
通常 37.5℃以上を指します。
ただし、37.5℃より低くても平常時より体温が高く、体調が優れない場合の接種はお勧めしません。

② 本ワクチンの成分に対して、重度の過敏症の既往歴がある人



(主な症状)

- アナフィラキシー
- 全身の皮膚や粘膜症状
- 呼吸困難、喘鳴
- 頻脈、血圧低下など

③ 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態の人

3. 予防接種を受ける際に、注意が必要な人

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害がある人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患がある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出た人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- 妊娠中または妊娠している可能性がある人、授乳されている人

左記にある症状等をお持ちの方は、必ず診察時に医師に伝えて下さい。



4. 接種を受けた後の注意点

ワクチンを受けた後は、

15～30分間程度は接種会場で座って様子を見て下さい！！

接種後、すぐに現れる可能性のある症状

接種当日

アナフィラキシー	<p>薬や食べ物などアレルギーの原因物質が体内に入ること で、全身に現れるアレルギー反応です。 主な症状：じんま疹、腹痛、息苦しさなど全身に現れます。</p> <p>＜アナフィラキシーショック＞ アナフィラキシーによって血圧低下、意識障害など、生命を 脅かす危険な状態になることをアナフィラキシーショック と言います。</p>
血管迷走神経反射	<p>ワクチン接種に対する不安な気持ちや緊張感などのストレ スと、接種した時の痛みをきっかけに発症。一時的に脳へ の血流が減少することで、立ちくらみや、血の気が引いて 気を失うなど誰にでもおこる可能性がある反応です。 対処方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横になって休めば自然に回復します。 ・倒れた際にケガをしないように、しっかりと背もたれのある椅子に座りましょう。
その他の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・激しい運動は控えてください。 ・接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部位は強くこすらないようにしましょう。

接種後、数日間

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状

発現率	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、 <small>か</small> 痢、発熱、接種部位の腫れ
1～10%	吐き気、嘔吐

上記の症状は、接種後数日以内に症状が改善していきます。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、
厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



※ホームページをご覧になれない場合にはお住いの市町村等にご相談下さい。

新型コロナウイルスワクチン予防接種についての説明書

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは16歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約95%と報告されています。）

販売名	コミナティ [®] 筋注
効能・効果	SARS-CoV-2による感染症の予防
接種回数・間隔	2回（通常、3週間の間隔） ※筋肉内に接種
接種対象	16歳以上（16歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	1回0.3 mLを合計2回

- 1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。（接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。）
- 1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチン接種を受けてください。
- 本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。
本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 当日の激しい運動は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2 による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種により mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	◇ トジナメラン（ヒトの細胞膜に結合する動きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードする mRNA）
添加物	◇ ALC-0315：〔（4-ヒドロキシブチル）アザンジル〕ビス（ヘキサン-6,1-ジイル）ビス（2-ヘキシルデカン酸エステル）
	◇ ALC-0159：2-〔（ポリエチレングリコール）-2000〕-N,N-ジテトラデシルアセトアミド
	◇ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン
	◇ コレステロール
	◇ 塩化カリウム
	◇ リン酸二水素カリウム
	◇ 塩化ナトリウム
	◇ リン酸水素ナトリウム二水和物
	◇ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。